



●山の日ポスター展 2024

JAGDA（日本グラフィックデザイン協会）
長野地区主催の「山の日ポスター展 2024」
が開催中です。

主査もデザイナーとして出展しております。
ご興味がありましたらご覧下さい。

◆会期：8月1日（木）～25日（日）

会場：北アルプス展望美術館 安曇野ギャラ
リー 9:00～16:30（月曜休館）

◆会期：9月21日（土）～30日（月）

会場：花と器 古道具 草の音

11:00～18:00（最終日のみ16:00、木
曜休館）

◆会期：10月10日（木）～11月2日（土）

会場：長野美術専門学校サテライトキャンパ
ス

10:00～16:00（最終日開館、土日祝休館）

※詳細は、以下 URL をご参照下さい。

[https://www.ndpa.jp/r0203/wp-content/
uploads/2024/08/JAGDAnagano_MDPE
2024.pdf](https://www.ndpa.jp/r0203/wp-content/uploads/2024/08/JAGDAnagano_MDPE2024.pdf)

（吉澤陽介 主査より：005）

原稿募集：この通信の原稿を募集しています。
色彩教材に関連した内容。短いエッセイ。出
会った色彩。本文は480字以内。タイトル
は15字以内でお願いします。（永田）

●日本の伝統的な色名・赤

赤絹の 純裏の衣 長く欲り
わが思う君が 見えぬ頃かも

万葉集・巻12-2972

赤駒という使い方も万葉集に見られる。

赤はこの色調を代表する基本色名として
現在は使われているが、赤系統の色を表す
色名は、赤色、朱色、紅色、茜色、桃色、紅
梅色、丹色などが使い分けられている。

朱色は真朱、あるいは水銀朱の鉱物顔料
の色。紅色は紅花染めの赤で、茜色は茜染
めの赤で染料系の色、桃色や紅梅色は花び
らの色を指し、丹色は赤土の色から来てお
り、「赤壁」は中国湖南省の揚子江南岸の古
戦場の史跡で、断崖の赤土の色から赤壁と
呼ばれている。「赤駒」という使い方も、赤
の彩度を広げて使っていた例と考えられる。

日本国旗の日の丸の赤を最高彩度の赤と
考えて赤の拡がりを楽しんで欲しい。

用法：赤色・赤飯・赤面・赤血球。あり
のままの赤心・赤誠。何も帯びていない赤手・
赤貧・赤裸。赤道・赤緯・赤経。共産主義
の赤色：赤旗・赤軍・赤旗。金属の赤銅。赤子・
赤ちゃん・赤ん坊。襲の色目：表が赤、裏
が二藍。表が蘇芳、裏が縹。（諸説あり）

（永田泰弘）

●大辞泉ひろいよみ 69ーく

黒具足：くろぐそく。黒づくめの鎧や具足。
黒漆を塗り、黒糸・黒革を使って作るもの。
黒熊：毛色の黒い熊。日本のツキノワグマの
こと。

黒雲：黒色の雲。こくうん。物事を妨げる不
吉なもの。暗雲。

黒鞍：黒く塗った鞍。

黒栗毛：馬の毛色の名。黒みを帯びた栗毛。

黒黒：非常に黒いさま。真っ黒なさま。

黒鋤：戦国時代、築城・開墾・道普請など
に従事した者。黒鋤者。江戸時代、江戸城内の
城番・作事・防火・掃除などに従事した者。
江戸時代、主として川普請や新田開発などの
工事に従事したもの。

黒毛：黒い毛。毛色の黒いうま。

黒煙・黒烟：黒い煙。こくえん。

くろご：黒衣・黒子。歌舞伎で、俳優の演技
や舞台進行の介添えをする人が着る黒い衣
装。また、その人。人形遣いが着る黒い衣装。

黒鉱：くろこう。閃亜鉛鉱・方鉛鉱・黄鉄鋼・
黄銅鉱・重晶石などの混合した黒っぽい鉱石。
多少の金・銀を含む。銅鉱石として重要。

黒格子：くろごうし。黒く塗った格子。大坂
天王寺近辺にあった市子・口寄せの家。

*大辞泉：小学館発行国語辞典

（永田泰弘）